

平成28年5月20日
石川県高次脳機能障害相談・
支援センター
担当課長 湯谷 幹恵
TEL (076)266-2188

石川県高次脳機能障害普及啓発講演会について

高次脳機能障害は、頭部外傷、脳血管障害等による脳損傷の後遺症として、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などが生じる障害です。

日常生活・社会生活への適応が困難となることがありますが、退院後家庭や学校に戻り初めて気づくことも多く、また、外見からは分かりにくい障害でもあり、周囲の理解を得にくい現状があります。

高次脳機能障害の理解を深め、よりよい支援を広げていくために、下記のとおり講習会を開催します。

記

- 1 日 時 平成28年5月28日（土）13：30～15：30（受付12：30～）
- 2 場 所 石川県リハビリテーションセンター 4階 大研修室
（金沢市赤土町13-1）
- 3 対 象 者 高次脳機能障害のある方やその家族、医療・福祉・教育関係者、
一般県民など
- 4 内 容
講演「理解されない障害（生きづらさ）を生きる人たちにエールを
～高次脳機能障害を生きる小林春彦さんの講演会～」
講師 小林 春彦 氏

※別紙案内チラシ参照

理解されない障害（生きづらさ） を生きる人たちにエールを

～高次脳機能障害を生きる小林春彦さんの講演会～

今、世間では、少数派を理解し、共生しようという考え方が増え、喜ぶべきことだと思います。ただ、私は、これまでの経験等から「生きづらさ」を感じているのは、必ずしも少数派だけではないと考えます。私は、人々の「多様性」よりも前に個人の中になる「多面性」に目を向けたい。人は誰だって、笑顔の裏に秘した「見えない何か」を抱いて生きているからです。人の数だけ人生があり、一人ひとりが当事者です。～18歳のビックバンより要約抜粋～

日時：平成28年5月28日（土）

13：30～15：30（受付12：30～）

場所：石川県リハビリテーションセンター 大研修室
（石川県金沢市赤土町二13-1）

講師：小林 春彦 氏

参加費：無料



～講師プロフィール～

18歳の時に脳梗塞で倒れ、身体機能と脳機能に重複した障害を抱える。3年間にわたる闘病で身体障害は克服したが、その後高次脳機能障害と診断された。東京大学先端科学技術研究センターによる障害のある児童・学生の進学や就職支援プロジェクト DO-IT Japanの第一期生として参加し、発達障害や高次脳機能障害など、脳機能の障害を根拠とした試験の特別措置を日本で初めて実現する。

昨年自身の体験を綴った『18歳のビックバン～見えない障害を抱えて生きるということ～』を出版し、全国各地で理解されない障害や「生きづらさ」を抱える人に向けての啓発活動を行っている。

主催：もやもや病の患者と家族の会北陸ブロック、高次脳機能障害患者と家族の会つばさ
石川県高次脳機能障害相談・支援センター



【会場案内】

- ・所在地
〒920-0353
石川県金沢市赤土町13-1
石川県リハビリテーションセンター
- ・交通案内
タクシー：JR 金沢駅西口より10分
バス：行き 12:00 金沢駅西口発
(7番のりば)
帰り 17:14 済生会病院前発

* 当事者・家族、医療関係者、福祉関係者、教育関係者などどなたでも参加していただけます。
みなさまの参加をお待ちしております。

○申し込み・問合せ○

石川県高次脳機能障害相談・支援センター

TEL : (076) 266-2188 FAX : (076) 266-2864

高次脳機能障害講演会申し込み(5月28日開催)

出席者名簿

施設名： _____

連絡先： _____

所属・施設名	氏名

* 申し込み締め切り：5月23日(月)まで